

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 22 日

岩手県知事 達増 拓也 様

提出者

住 所 岩手県奥州市水沢台町3番35号

氏 名 板谷建設株式会社  
代表取締役社長 関口 聡

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0197-24-5181

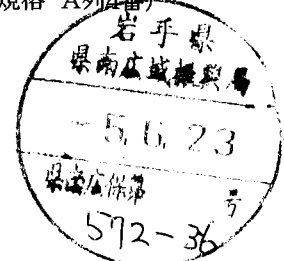
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	板谷建設株式会社
事業場の所在地	岩手県奥州市水沢台町3番35号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	完成工事高37.18億円
③ 従業員数	67人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルト殻、汚泥、紙くず、ガラス・陶磁器くず、木くず、金属くず、コンクリート殻、繊維くず、その他がれき、廃石膏ボード、廃プラ →処理を委託

（日本工業規格 A列4番）



## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物管理責任者      代表取締役会長

↓

廃棄物処理等  
責任者      常務、総務部部長、土木部長、建築部長

↓

産業廃棄物担当者      現場代理人

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】 別紙1～6の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 分別を行い、再生資源となるように努めた。		
②計画	【目標】 別紙1～6の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) さらに分別を行い、再資源化に努める。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出される廃棄物については全て、分別を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持・促進に努める。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 自らによる再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自らによる再生利用を実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 自らによる中間処理は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自らによる中間処理を実施する予定はない。		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 自らによる埋め立て処分等を行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自らによる埋め立て処分等を実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙1～6の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙1～6のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (アスファルト殻)	汚泥
	全 処 理 委 託 量	830.99 t	4.71 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	830.99 t	4.71 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従い、産業廃棄物処理業者の許可種類、取扱できる産業廃棄物 を確認の上、選定し、書面による契約を行い処理を委託している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (アスファルト殻)	汚泥
	全 処 理 委 託 量	789.44 t	4.47 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	789.44 t	4.47 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も委託基準に従い、産業廃棄物処理業者を選定し、再生利用可能な廃 棄物については再生利用業者に処理を委託する。また委託先処理業者に対 し、適正に処理されていることを確認するため、適時に現地を確認する。		
※事務処理欄			

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	1.26 t	6.11 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.69 t	0.03 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.26 t	2.62 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従い、産業廃棄物処理業者の許可種類、取扱できる産業廃棄物 を確認の上、選定し、書面による契約を行い処理を委託している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	1.20 t	5.80 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.20 t	2.32 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も委託基準に従い、産業廃棄物処理業者を選定し、再生利用可能な廃 棄物については再生利用業者に処理を委託する。また委託先処理業者に対 し、適正に処理されていることを確認するため、適時に現地を確認する。		
※事務処理欄			



## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	全 処 理 委 託 量	396.23 t	10.33 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.99 t	0.33 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	396.23 t	10.33 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従い、産業廃棄物処理業者の許可種類、取扱できる産業廃棄物 を確認の上、選定し、書面による契約を行い処理を委託している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	全 処 理 委 託 量	376.42 t	9.81 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	376.42 t	9.81 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も委託基準に従い、産業廃棄物処理業者を選定し、再生利用可能な廃 棄物については再生利用業者に処理を委託する。また委託先処理業者に対 し、適正に処理されていることを確認するため、適時に現地を確認する。		
※事務処理欄			

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート殻)	繊維くず
	全 処 理 委 託 量	8788.15 t	0.11 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	8788.15 t	0.11 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従い、産業廃棄物処理業者の許可種類、取扱できる産業廃棄物 を確認の上、選定し、書面による契約を行い処理を委託している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート殻)	繊維くず
	全 処 理 委 託 量	8348.74 t	0.11 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	8348.74 t	0.11 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も委託基準に従い、産業廃棄物処理業者を選定し、再生利用可能な廃 棄物については再生利用業者に処理を委託する。また委託先処理業者に対 し、適正に処理されていることを確認するため、適時に現地を確認する。		
※事務処理欄			

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (その他がれき)	廃石膏ボード
	全 処 理 委 託 量	10.13 t	17.77 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	0.36 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4.56 t	0.98 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	委託基準に従い、産業廃棄物処理業者の許可種類、取扱できる産業廃棄物を確認の上、選定し、書面による契約を行い処理を委託している。		

(第 5 面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (その他がれき)	廃石膏ボード
	全 処 理 委 託 量	9.62 t	16.88 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4.81 t	0.93 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も委託基準に従い、産業廃棄物処理業者を選定し、再生利用可能な廃棄物については再生利用業者に処理を委託する。また委託先処理業者に対し、適正に処理されていることを確認するため、適時に現地を確認する。		
※事務処理欄			

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全 処 理 委 託 量	58.36 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2.94 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	58.36 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従い、産業廃棄物処理業者の許可種類、取扱できる産業廃棄物 を確認の上、選定し、書面による契約を行い処理を委託している。		

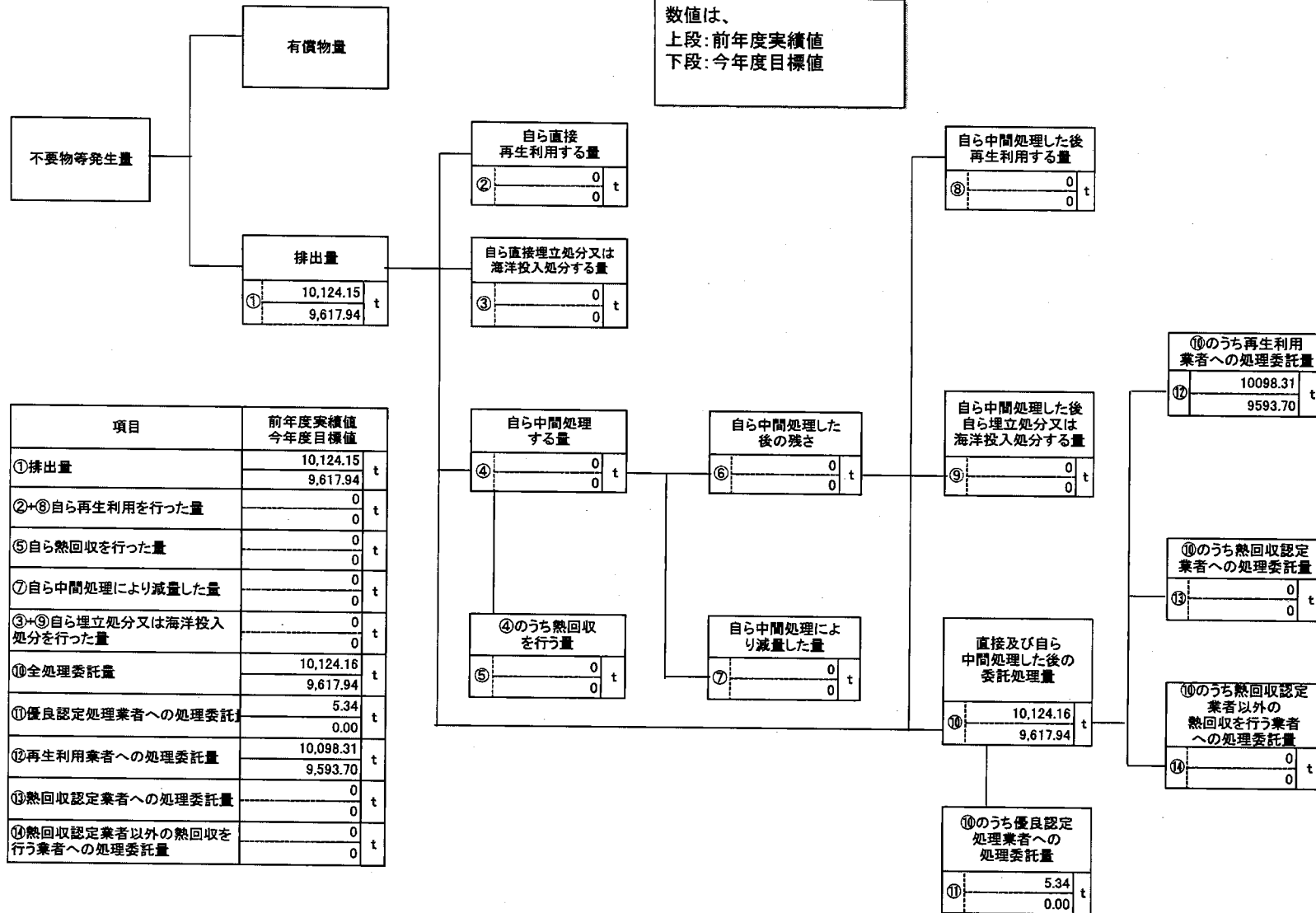
(第 5 面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全 処 理 委 託 量	55.44 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	55.44 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も委託基準に従い、産業廃棄物処理業者を選定し、再生利用可能な廃 棄物については再生利用業者に処理を委託する。また委託先処理業者に対 し、適正に処理されていることを確認するため、適時に現地を確認する。		
※事務処理欄			

【別紙】今年度の計画

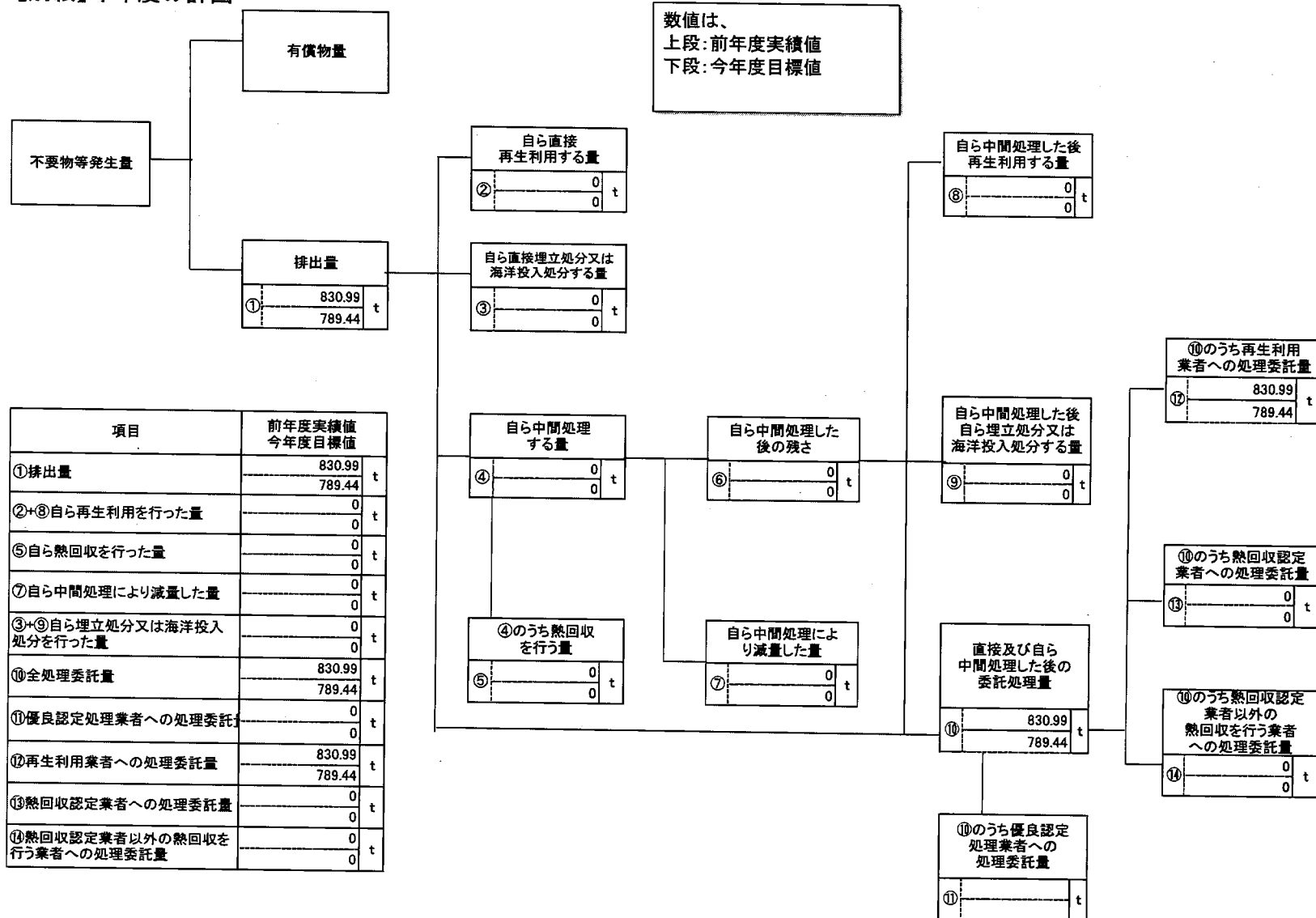
(産業廃棄物の種類: 全体)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: がれき類(アスファルト殻))

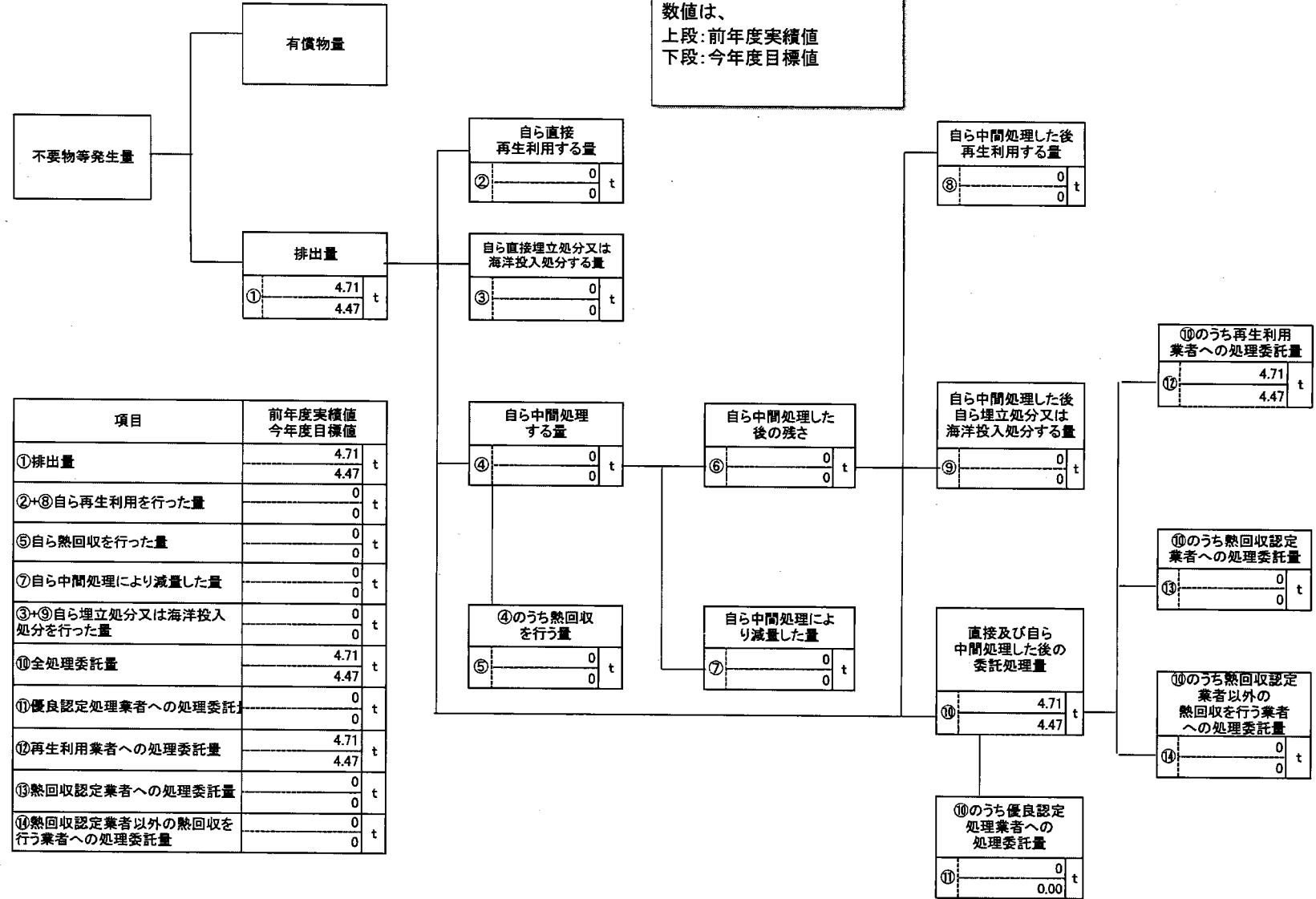
数值は、  
 上段:前年度実績値  
 下段:今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

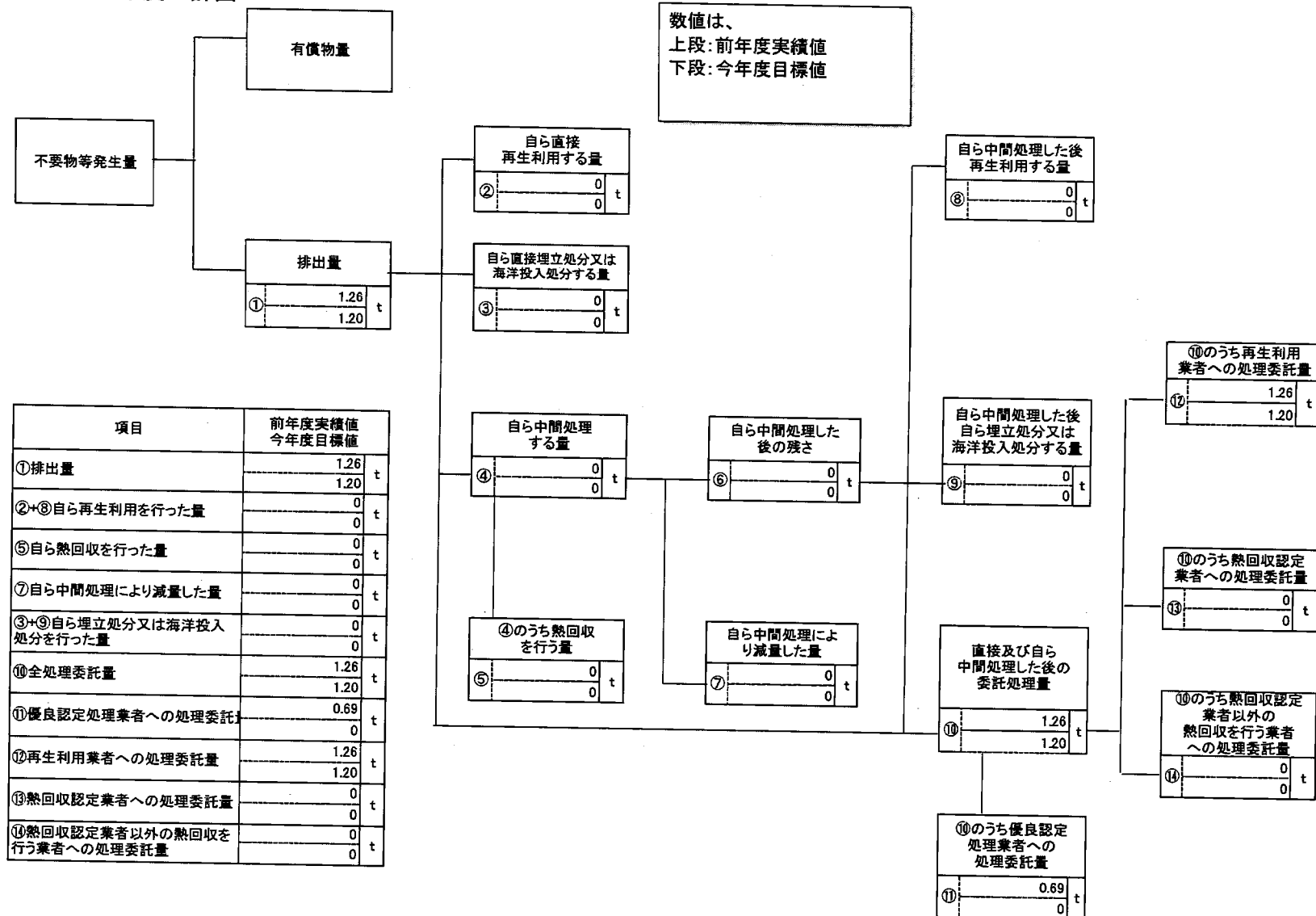
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	4.71 t	4.47 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t
③+⑨自ら埋処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t
⑩全処理委託量	4.71 t	4.47 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.71 t	4.47 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

数值は、  
 上段:前年度実績値  
 下段:今年度目標値

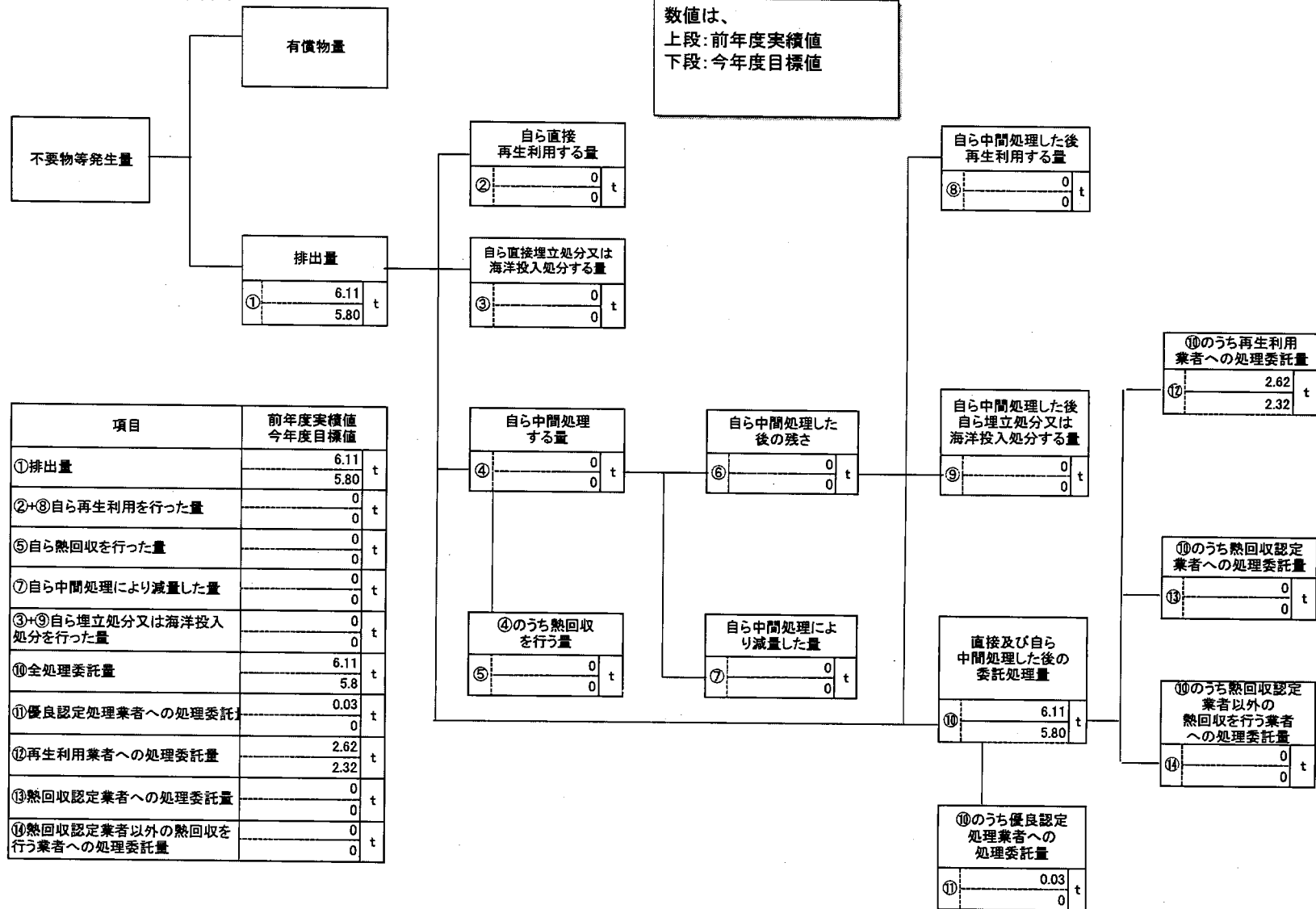




【別紙】今年度の計画

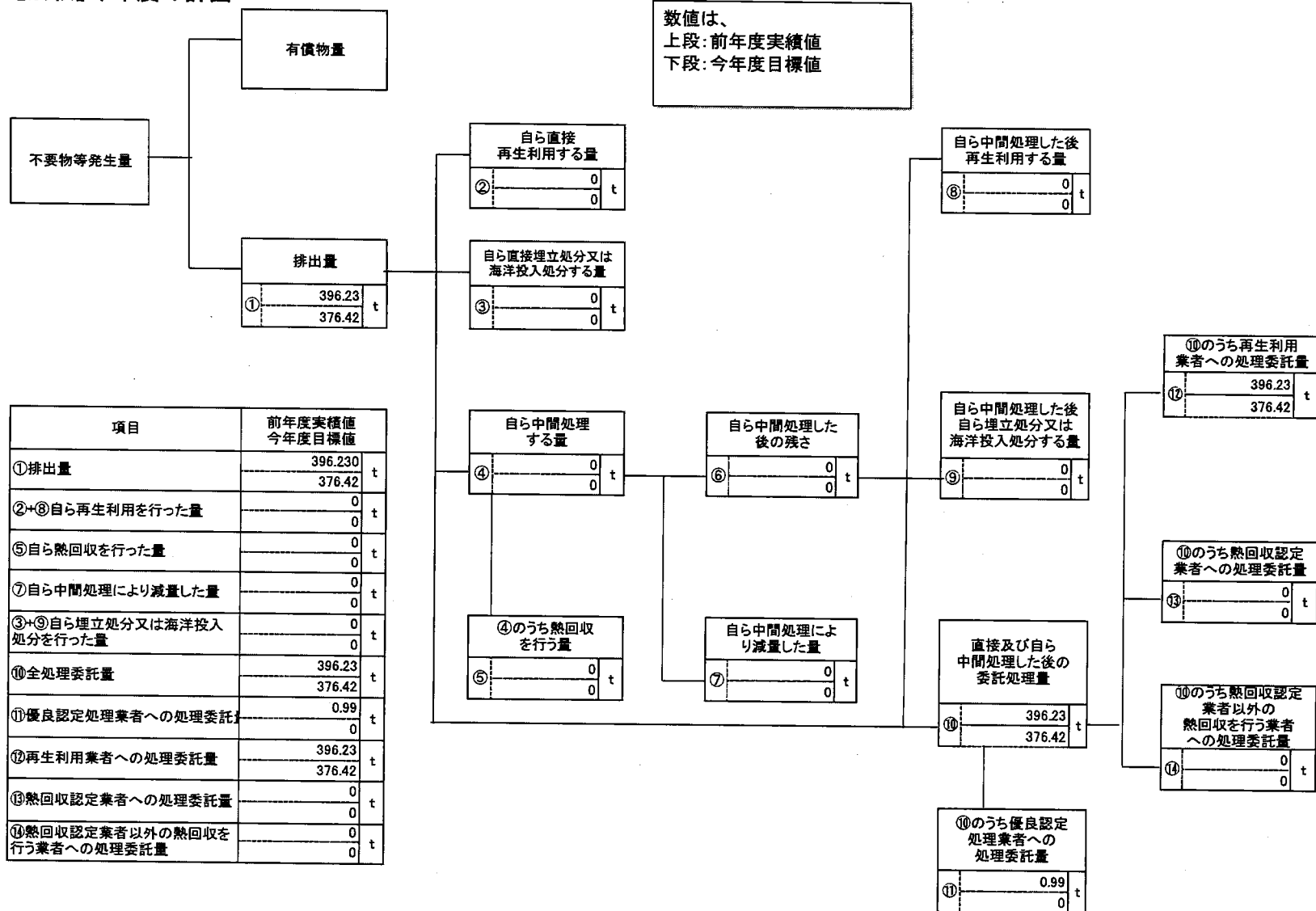
(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



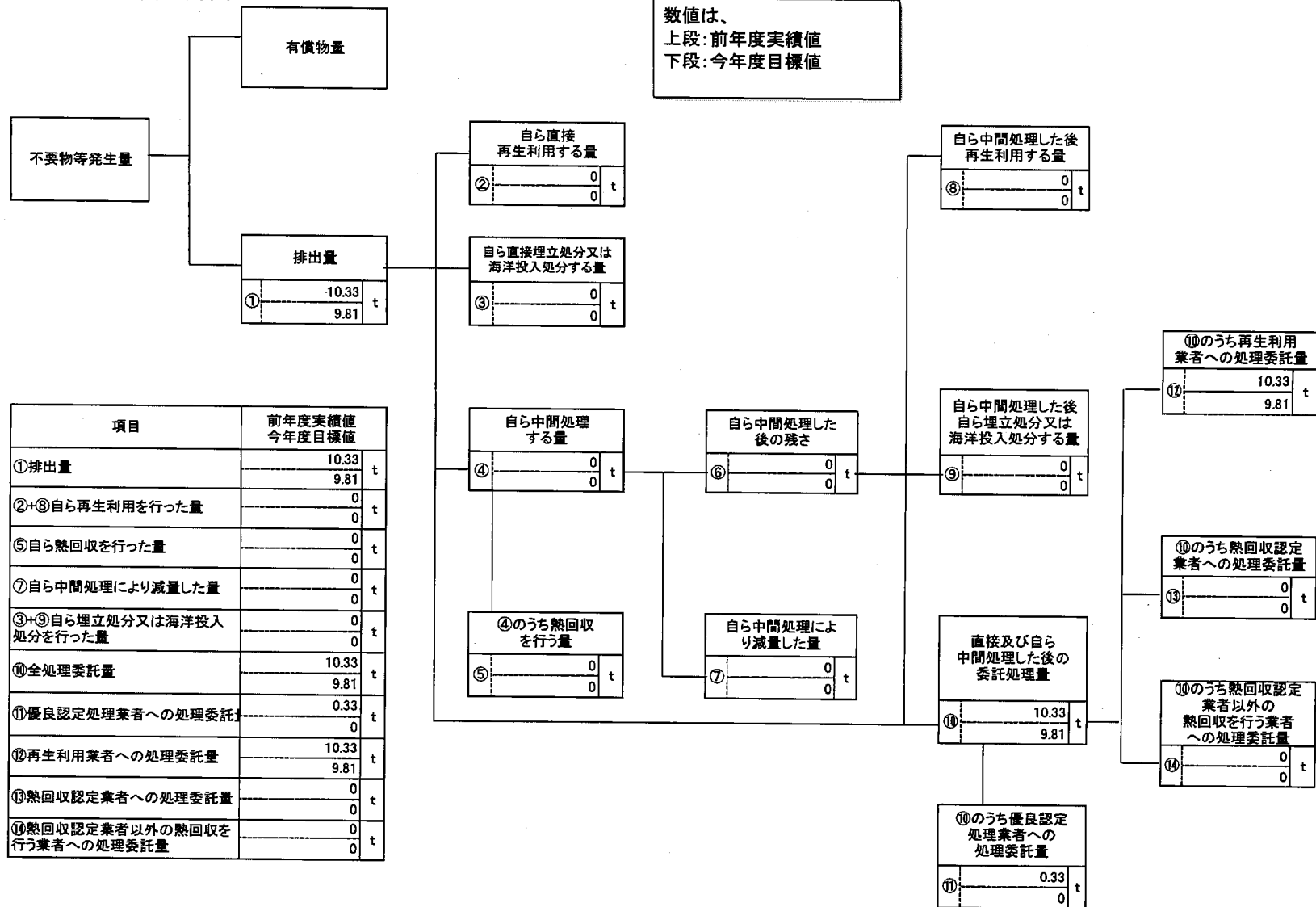
(産業廃棄物の種類: 木くず)

数値は、  
上段:前年度実績値  
下段:今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 金属くず)

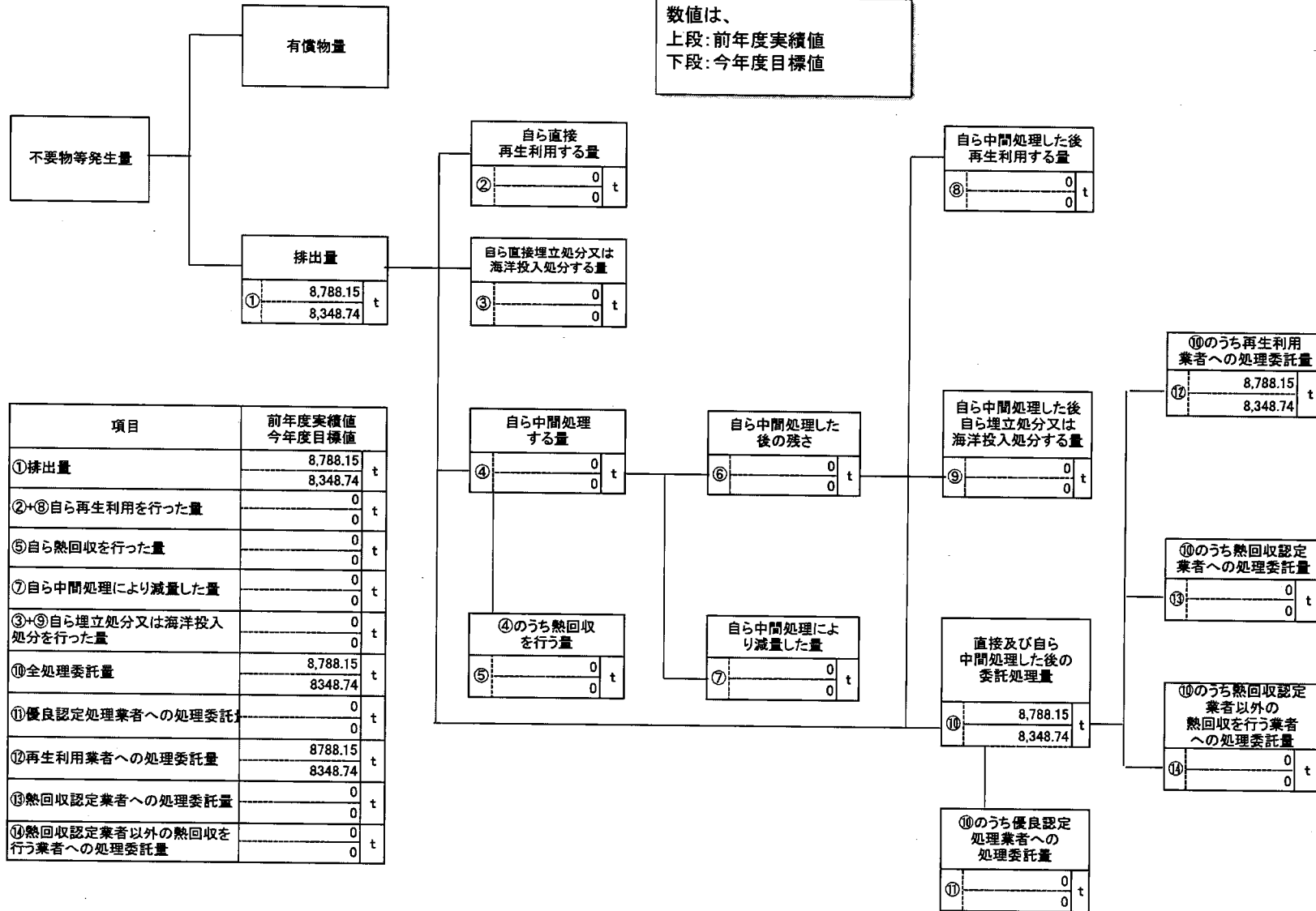
数値は、  
上段:前年度実績値  
下段:今年度目標値



(産業廃棄物の種類: がれき類(コンクリート殻))

【別紙】今年度の計画

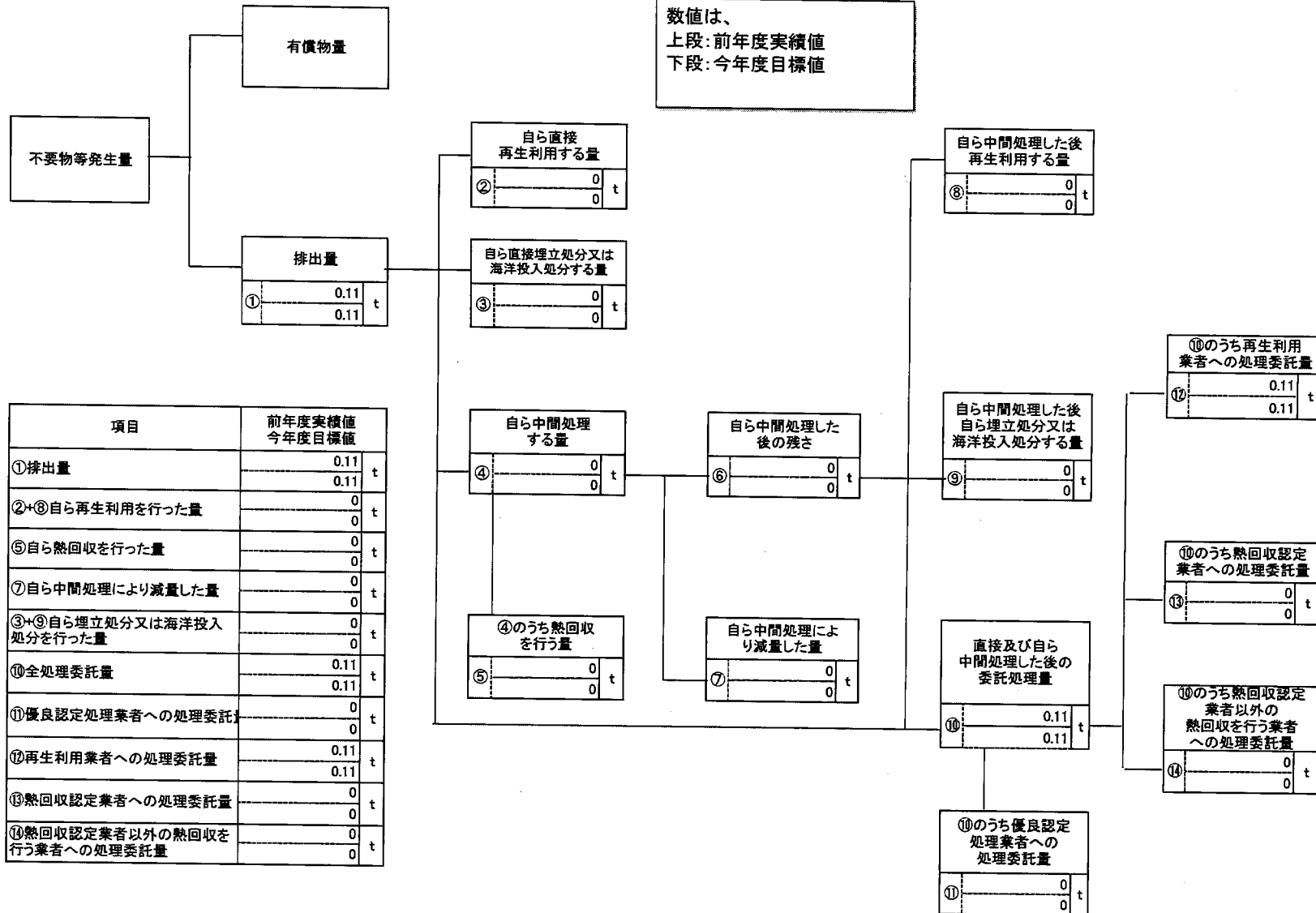
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

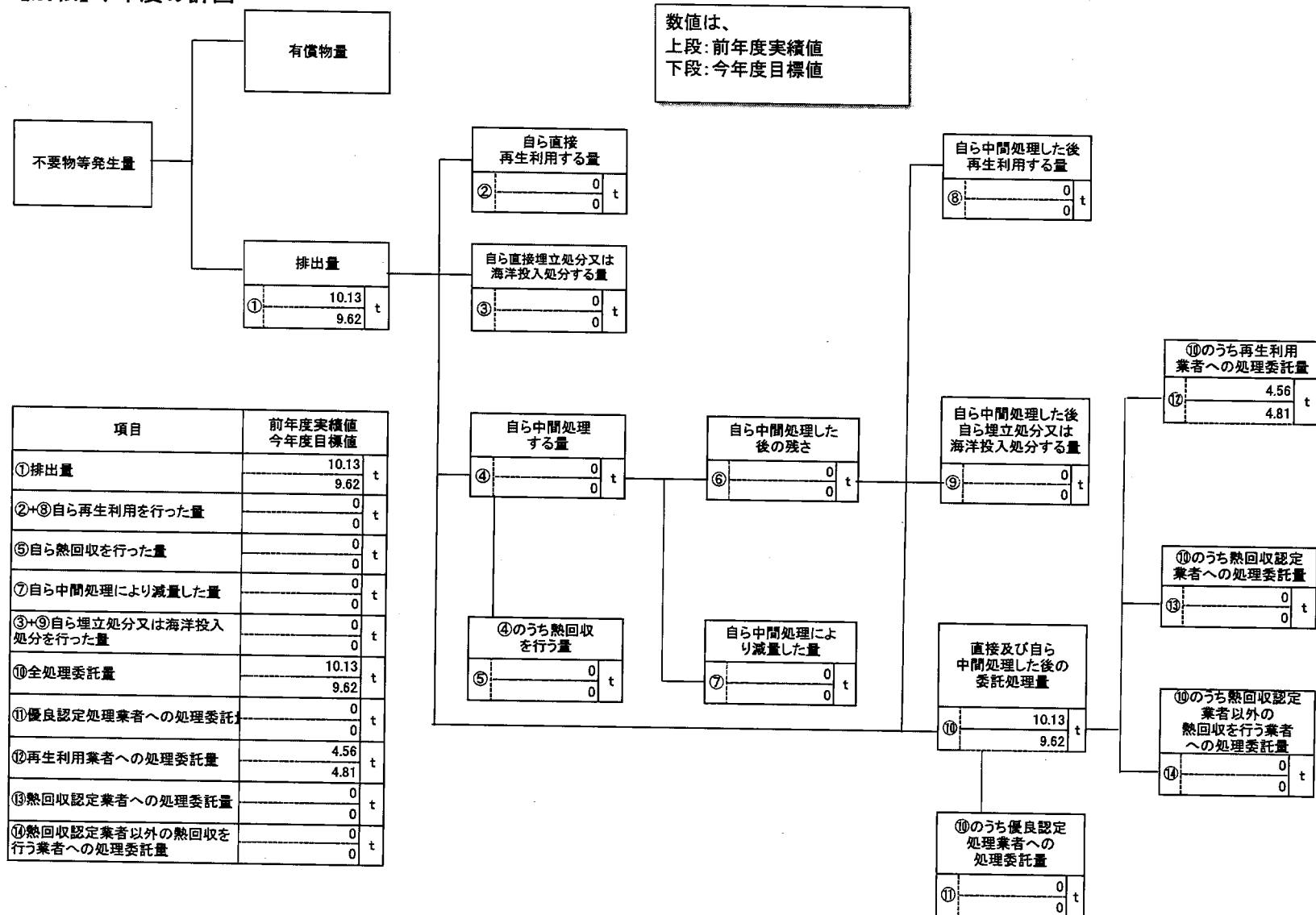
(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: がれき類(その他がれき))

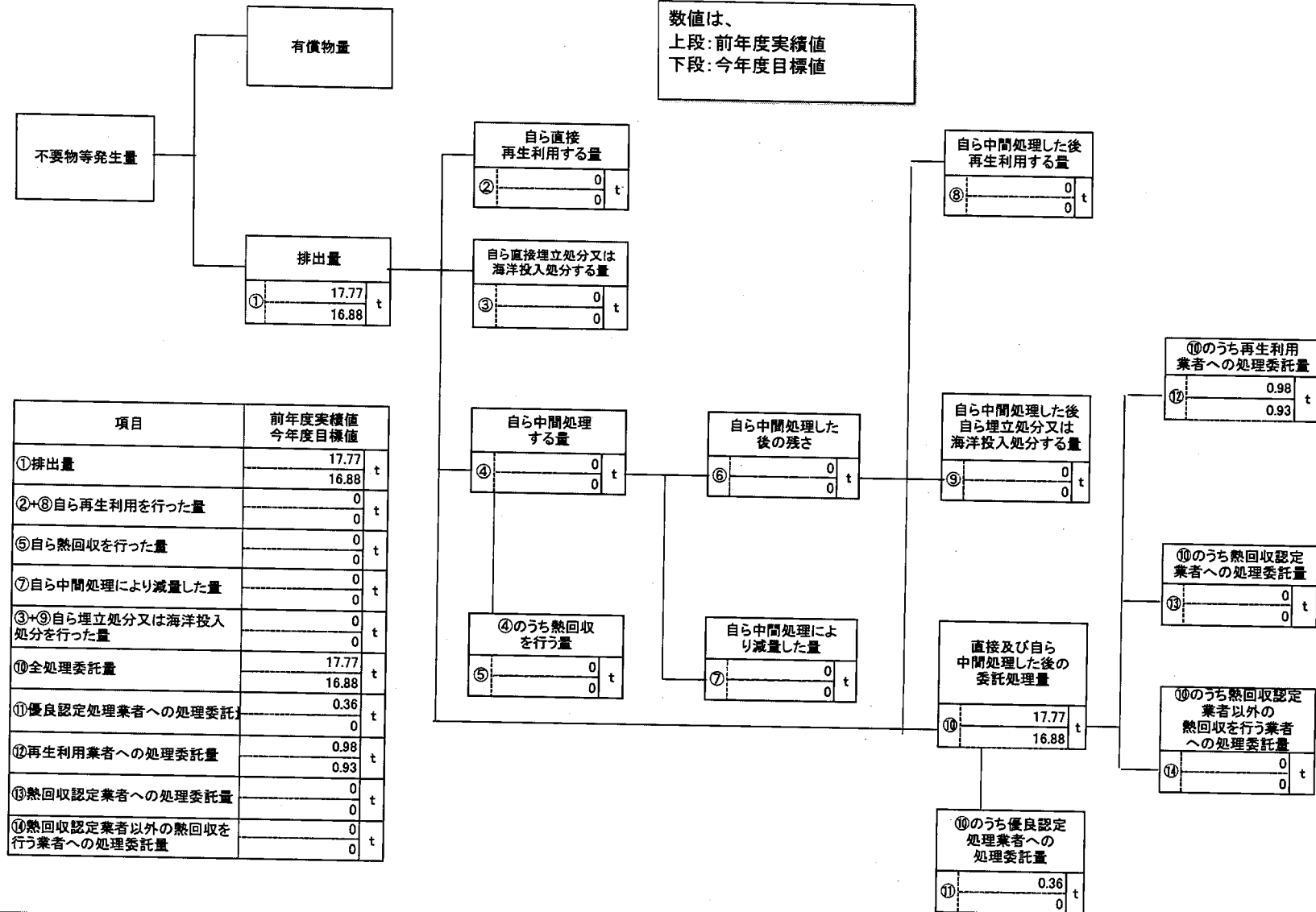
数値は、  
 上段:前年度実績値  
 下段:今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

